

株式会社 松屋 10月売上速報

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-10.2	銀座店では、前年の大きな免税売上高の反動により、ラグジュアリーブランド・時計の売上高前年割れの傾向が続いています。衣料部門では、前半最高気温30度を超える気候の中で、ジャケット・ニットを軸とした秋物商材の動きに鈍さが見られました。一方、化粧品においては、引き続き国内外のお客様による旺盛な購買により、売上高は前年を上回りました。催事は、8階イベントスクエアで「銀座の『きもの市』」を開催。雑誌とのタイアップで新規顧客が増え、こだわりのきもの等の高額商品の動きが堅調でした。なお、前年との営業差異については、日曜日が+1日と好条件ながらも、3連休における雨天の影響や月前半の高気温、また館内施設の更新により、一部面積を縮小して営業した等の要素がミックスされ、売上高は前年を下回りました。浅草店は、弁当・惣菜、新ブランドが入った婦人雑貨は好調も、それ以外の食品・衣料部門が苦戦。売上高は前年に届きませんでした。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

(ご参考)

銀座店	-10.5	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-5.2	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。